



“ぎまままに”  
川柳

今月のお題

浴衣

夏祭り 浴衣美人で おでかけよ ジョージ	浴衣着せ 朝顔花火 孫と舞う 服部ハツ義	藍染めの 男浴衣の 風の盆 丹羽つね代	パキパキの 浴衣を着ての 夏祭り 林章	お揃いの 浴衣着てても 踊りずれ 月丘夢子	浴衣着て 風鈴音色 夕涼み 森本千代美	孫浴衣 時代が変わり ドレス風 高野まき	振り向くな 浴衣じゃ嫁は 変わんない 早乙女勇樹
-------------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------------------	--------------------------------	------------------------------	-------------------------------	-----------------------------------

**■応募方法**  
 住所・氏名またはペンネームを明記し、直接または郵送、Eメールで広報広聴係へ。  
 〒509-5192 (住所不要)   ✉ koho@city.toki.lg.jp  
 ☎ 1111 (内線185) / FAX 7763  
 ※応募多数の場合は採用されないことがあります。

### わたしのほやねさん

「ほやねさん」とは…  
 つらいときや悩んだとき、そっと寄り添って「ほやね、ほやね」と話を聞いて、心を支えてくれる人

保健センターで4カ月児健診にくる親御さんに対してブックスタートの話をする三浦美由紀さんは「まちのほやねさん」です。

ブックスタートは、赤ちゃんの時から本に接し、言葉を学んだり心を育てたりするのに役立つようと、1992年にイギリスで始まりました。三浦さんは、読み聞かせによって、親子間のつながりがさらに深まると言います。少し高め心地よい声で、押し付けず語り掛けるような話し方は、まるで癒やしのオルゴールを聞いているようです。まんまるでかわいらしい笑顔の4人のママ。自身の子育ての経験から、健診にくる赤ちゃんだけでなく、お兄ちゃんやお姉ちゃんの読書相談にも丁寧に応えてくれます。三浦さんがしてくださる「三つの離さず」という話を聞くと、中学生と高校生の子どもを育てる私も、子どもたちが幼かった頃を思い出し、教育費と食費がかさむ日々の生活に追われがちな自分を改める気持ちになります。



ペンネーム たかがーる (泉町)

**<三浦さんから一言>**  
 乳幼児の子育て時期、体力的にお母さんはとても大変ですが、過ぎてしまえば一番幸せな時間であったと気付くときが来ると思います。二度と戻らないお子さんとの大切な時間を楽しんでください。毎月第3木曜日に市図書館で読み聞かせを行っています。ぜひ聞きに来てください。



## 募集

✉

掲載の「わたしのほやねさん」ストーリーの他、市内に実在する「まちのほやねさん」を募集します。あなたがこれまでに会ったほやねさんを400字程度の紹介文と一緒にお寄せください。

**■応募方法**  
 住所・氏名またはペンネーム・電話番号を明記し、直接または郵送、Eメールでまちづくり推進課へ。  
 〒509-5192 (住所不要)   ✉ machisui@city.toki.lg.jp  
 ☎ 1111 (内線186) / FAX 7763  
 ※応募多数の場合は採用されないことがあります。